

## 富山県技術士会の活動報告

### はじめに

富山県技術士会は、平成16年に発足して、早くも3年目を迎えました。このたび、平成18年度の最初の活動として、定時総会と第5回講演会を開催しましたので、報告させていただきます。

### 平成18年度定時総会

定時総会は、平成18年7月1日(土)15:00～15:30に、富山地鉄ホテル11階会議室において開催しました。出席者は、委任状を含め45名です。森田代表幹事の挨拶の後、以下に示す議事次第に従って、平成17年度の活動報告と平成18年度の活動計画等について審議し、各議案は、原案通り可決されました。また、先に実施したアンケート結果の公表がありました。

#### ・ 議 事

1. 平成17年度事業報告
2. 平成17年度決算報告
3. 平成18年度事業計画(案)
4. 平成18年度予算(案)
5. 規則の改定(案)
6. 役員の変更(案)
7. その他(アンケート結果の公表)

### 第5回講演会

第5回講演会は、定時総会後の15:30～18:00の間に、同じ会場で開催されました。参加者は、講師を含めて39名です。今回は、次に示す題目で、2名の講師の先生方に講演をして頂きました。

#### ・ 最近の技術士会の活動

(社)日本技術士会北陸支部長 中山 輝也

- ・ 科学の進展と偶然ーセレンディピティとその役割ー  
富山県立大学客員教授 澤泉 重一

最初の中山支部長の講演は、「技術士ビジョン 21」の実現等に向けた体制作りの話と、「国立大学法人化と地方の大学」に関する話でした。地方大学の話では、新潟を例として、新潟大学設立から独立法人化後までの話がありました。東京への一極集中が進む中で、地方を活性化するためには、地域づくりに多様な大学人が参画し、地元の企業や経済人が協力することが大切であるとの考えでした。富山も同じような状況にあり、共感すると同時に、技術士会を中心に、情報交換や協力が出来ればと思いました。



定時総会の状況



講演中の中山支部長



講演中の澤泉先生

二番目の澤泉先生の講演は、科学の進展に「セレンディピティ」⇨偶然力が大いに関係しているという話です。ノーベル賞を受賞した白川博士や小柴博士、田中耕一氏の発明や発見にも、偶然の作用とそれに対する気づき⇨察知があったことを、具体的に説明して頂きました。異文化や異業種との交流が、偶然の出会い

や発見、察知力を高めるとの話で、様々な分野の人が集まる技術士会での活動は、セレンディピティに有効であると感じました。さらに詳しい話は、澤泉先生の著書『偶然からモノを見つけだす能力-「セレンディピティ」の活かし方、角川書店』をお読み下さい。

### まとめ

今回の講演も、日常業務とは少し離れた新鮮な話で、大変興味深く聞くことができました。次回の第6回講演会は、平成18年11月25日(土)に、同じ会場で開催する予定です。次回も、面白い話が聞けると思いますので、お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

なお、富山県技術士会の平成18・19年度の新役員は、下表に示すとおりです。今後とも、宜しくお願い致します。

富山県技術士会 平成18・19年度役員名簿

役職	氏名	所属
代表幹事	森田 清三	(株)協和
副代表幹事	小西 勇	(株)中部コンサルタント
副代表幹事 事業担当	境 豊和	根尾建設(株)
副代表幹事 事業担当	佐渡 正	館下コンサルタンツ(株)
副代表幹事 業務担当	笹倉 正司	北陸環境システム(株)
副代表幹事 総務担当	竹内 勝信	(株)アーキジオ 事務局
総務担当幹事	上原 恵	(財)富山県民福祉公園
総務担当幹事	梶川 明美	富山県
事業担当幹事	辻野 篤	富山県
事業担当幹事	大塚 哲夫	鈴木工業(株)
業務担当幹事	有澤 良一	(株)アリサワ技術
業務担当幹事	吉岡 茂喜	三協立山アルミ(株)
業務担当幹事	市森 友明	(株)新日本コンサルタント
会計監事	有川 成正	砺波工業(株)
会計監事	高田正一郎	(財)富山県公営企業振興団

(富山 竹内勝信)